

# 令和6年度 進路指導専門委員会研修会

実施期日：令和6年11月11日（月）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

# 目 次

次第	・・・・・・・・・・	2 ページ
発表校資料		
(1) 埼玉県立草加西高等学校 P T A	・・・・・・・・・・	3 ページ
(2) 埼玉県立朝霞西高等学校 P T A	・・・・・・・・・・	7 ページ
(3) 埼玉県立川口北高等学校 P T A	・・・・・・・・・・	11 ページ
(4) 埼玉県立秩父農工科学高等学校 P T A	・・・・・・・・・・	15 ページ
連絡事項	事務局より	・・・・・・・・・・ 19 ページ

# 令和6年度埼玉県高等学校PTA連合会 進路指導専門委員会研修会 次 第

日時 令和6年11月11日(月)  
場所 埼玉会館 小ホール

- 受付 9:30~10:00  
【司会・進行】 埼玉県立志木高等学校PTA副会長 佐藤 いくみ
- 1 開会のことば(10:00)  
埼玉県立栗橋北彩高等学校PTA会長 塩野入 和美
- 2 開会行事(10:00~10:10)  
(1) 委員長あいさつ 埼玉県立進修館高等学校PTA会長 秋月 京子  
(2) 講評者紹介 (司会)  
(3) 発表者・校長の紹介 (司会)
- 3 研究協議(10:10~11:30)  
(1) 実践発表 (各校20分)
- |      |  |        |
|------|--|--------|
| 東部支部 | 埼玉県立草加西高等学校PTA会長<br>【草加西高校の進路活動とPTA】   | 金岡 久美子 |
| 西部支部 | 埼玉県立朝霞西高等学校PTA会長<br>【朝霞西高校の進路指導とPTA活動】 | 黒岩 和尊  |
| 南部支部 | 埼玉県立川口北高等学校PTA会長<br>【川口北高校PTA活動と進路指導】  | 木村 卓史  |
| 北部支部 | 埼玉県立秩父農工科学高等学校PTA会長<br>【進路指導とPTA】      | 今井 孝幸  |
- (2) 質疑応答  
(3) 講評(11:40)  
埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 指導主事 大場 拓八 様
- 4 情報提供  
埼玉県高等等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆
- 5 閉会のことば(12:00)  
埼玉県立栗橋北彩高等学校PTA会長 塩野入 和美



## 草加西高校の進路活動とPTA

### 1 学校概要

本校は昭和58年に開校し、地域の皆様に愛され創立42年目を迎えた男女共学の普通科の高校です。「人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校」を目指す学校像に定め、



日々の学習に加え探求活動や部活動、委員会活動など幅広い教育活動を通して、生徒が自らの力で道を切り拓き、夢を実現する力を育てています。また、本校と同じ敷地内にある「草加かがやき特別支援学校 草加分校」と交流、協働するインクルーシブ教育を実践し、広い視野を持ち、多様化する社会の中で人と関わりながら生きていく力を育てています。

本校の特色は進路希望実現のために、類型別カリキュラムを取り入れていることです。生徒が自分の興味関心、希望進路に合わせて必要な科目を重点的に学び、自分の可能性をさらに広げていく環境を整えています。大学進学から就職まで多岐にわたる生徒の進路希望、興味関心に応える授業を展開し成果を上げています。進路実現にむけて、いつでも面接試験や就職試験に行ける身だしなみ、手帳の活用によるスケジュール管理の習慣づくりなど、進路指導と生活指導を一体化し、生徒の良いところを引き出す指導をしています。

#### (1) 校訓「正々堂々」

#### (2) 教育目標

- ア 探究心を持った知性豊かな創造性のある人を育てる。
- イ 困難を克服する体力と精神力のある人を育てる
- ウ 何事にも責任を持って行動し社会規範を重んじる人を育てる
- エ 情操豊かな素直で思いやりのある人を育てる



#### (3) 重点目標

- 1 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実
- 2 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実
- 3 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現
- 4 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進

#### (4) 特色ある教育課程

##### 1 類型別カリキュラム

2年次より5類型のカリキュラムで希望進路に合わせて必要科目を重点的に学ぶ

文系・・・文系の大学・専門学校・就職

理系・・・理系の大学・専門学校

教育系・・・幼稚園教諭・保育士など教育系大学・専門学校

医療系・・・看護師・理学療法士など医療系専門学校

福祉系・・・介護福祉士など福祉系専門学校

##### 2 多彩な選択科目

- ・簿記・情報の表現と管理・情報課題研究・総合古典・数学理解・理数探究基礎

保育園実習



- ・保育基礎・社会福祉基礎・介護福祉基礎・クラフトデザイン
- ・ファッション造形基礎・フードデザイン・実用の書
- ・ソルフェージュ・スポーツⅠ・スポーツⅡなど

介護福祉基礎



### 3 資格取得支援

- ・英語検定・漢字検定・簿記検定
- ・家庭科技術検定（被服・食物・保育）

分校授業体験

### 4 草加かがやき特別支援学校草加分校との交流

- ・体育祭・文化祭共催・緑化事業・分校授業体験



## 2 本校のPTA活動

### (1) 目的と事業

【目的】 父母と教職員が協力して、本校教育の充実発展を期することを目的とする。

【事業】 ①学校と家庭の連絡に関すること ②学校の教育的環境の整備に関すること

③学校行事への協力に関すること ④会員の研修及び親睦に関すること

⑤生徒・教職員の福利厚生に関すること ⑥会員・生徒の表彰・慶弔に関すること

⑦その他、本会の目的達成に必要な事業

### (2) 組織（R6 年度）

本 部	会長 1 名、副会長 若干名（含：教頭）理事 若干名、監事 2 名、顧問
学年委員会	クラス活動・学年活動の企画・実行、文化祭等の手伝い
専門	進路研修
委員	進路研修講演会の企画・運営、西秋祭警備など
会	広 報
	PTA 広報誌「みのり」の発行など
	生活保健
	交通安全指導（年 2 回）、西秋祭警備など

### (3) 会議の種類

- ①総会：会則の制定・変更、役員承認、事業報告・決算、事業計画、予算、重要事項
- ②理事会：原案作成・会務全般、年 5 回開催、本部・学年・専門の全委員で構成
- ③運営委員会：理事会の議題の検討、会務全般、本部・各専門委員長・各委員長で構成
- ④本部役員会：緊急を要する事項の審議処理を行う

※上記会議のほか、学年・専門委員会実施

### (4) PTA 事業（令和 6 年度）

- 4 月 入学式、PTA 入会式、新理事選出、第 1 回運営委員会・理事会・各委員会
- 5 月 第 2 回運営委員系・理事会・各委員会、PTA・後援会総会、歓送迎会、体育祭、学年活動（1,3 年）
- 6 月 PTA 広報誌「みのり」162 号発行、交通安全指導
- 7 月 学年活動（3 年）
- 9 月 第 3 回運営委員会・理事会・各委員会、進路講演会、西秋祭
- 10 月 学年活動（2 年）
- 11 月 ロードレース大会、交通安全指導
- 12 月 PTA 広報誌「みのり」163 号発行、学年活動（1 年）

1月 第4回運営委員会・理事会・各委員会、防災訓練・新年会  
 3月 PTA 広報誌「みのり」164号発行、卒業を祝う会

PTA 広報誌「みのり」



### 3 本校の進路活動

#### (1) 目 標

「〇〇になりたい」ではなく「〇〇になって・・・がしたい！」  
 というこだわりを持った生徒を育てる。

- ・働くことを意識した職業観の育成、生活指導と連携した教育活動
- ・10年後、20年後に社会で活躍するための基本スキルとマインドを育成する。
- ・1年 自己発見 2年 自己開拓 3年 自己実現

#### (2) 特 色

「キャリア教育」と「アクティブラーニング」を連動させた「キャリア探究」

- ①将来職業人となることを意識させるキャリアガイダンス
- ②批判的能力、創造的能力、協働性を伸ばす探究活動。  
 (特に1年次は聞く力、話す力、考える力の育成を重視)
- ③一般常識、基礎学力確保のための小テスト
- ④家庭学習定着のためのICTの活用(スタディサプリ、  
 HANDY 進路指導室、AiGROW 他)
- ⑤「今未来手帳」「西校ブレイクスルー」を活用した  
 主体性の育成。
- ⑥コミュニケーション能力を育てる小論文、プレゼンテーション指導

総合的な探究の時間：キャリア探究



西高ブレイクスルー



#### (3) 進路実績

	大 学			短大	専門 学校 等	就 職		卒業生数
	一般	指定	AO 公募			民間 縁故	公務 員	
37期生	14	27	27	13	100	34	2	234
38期生	12	12	34	14	95	43	4	226
39期生	14	17	30	10	101	30	2	223

〈就職〉埼玉県警、警視庁、千葉県警、国立印刷局、イオンリテール、ポラスハウジング、なだ万、銀座アスター、精養軒、足立誠和信用金庫、東武ステーションサービス、JA 越谷、SMC、日本ホテル、浅草ビューホテル、東芝コンシューママーケティング、埼玉ダイハツ販売 他  
 〈大学〉成蹊大、駒沢大、東洋大、日本大、大東文化大、亜細亜大、帝京大、国土館大、獨協大、文教大、東京家政大、実践女子大、立正大、白梅学園大、千葉工業大、東京都市大 他  
 〈短期大学〉東京家政短大、聖徳短大、女子栄養短大、共立女子短大、戸板短大 他  
 〈看護専門〉川口市立看護、戸田中央看護、上尾中央看護、板橋中央看護 他  
 〈専門学校〉上尾中央医療、呉竹医療、竹早教員保育士養成所、道灌山保育福祉、彰栄保育福祉、日本電子、武蔵野調理、国際文化理容美容、早稲田速記、日本工学院、川口高等技術 他



## 4 本校のPTA 進路研修委員会活動

### (1) 進路講演会

実施日：令和6年9月7日（土） 対象：1～3年生の保護者

株式会社進路企画の石川雅史様をお招きし、「進路別 受験と学費について～保護者と子どもの進路決定～」という題目で進路講演会を開催しました。講師の先生が大学、短期大学、専門学校のそれぞれの違い、メリットと注意点、入試選抜の種類、推薦入試の種類と特徴、そして進学する時に必要なお金、入学金や学費などの納入時期、奨学金についてのお話をしてくださいました。合格発表後の納入金が用意できず、入学辞退扱いになってしまったり、指定校推薦の場合、次年度から指定校推薦がなくなってしまうことがあるそうです。親として「自分の進路は自分で決めて欲しい」との思いから「あなたの自由にしろ」と言うことは、かえって子供を悩ませてしまう事もあるというお話もありました。情報があふれる時代だからこそ、子供と一緒に志望校を調べ、見比べ、押し付けないよう気を配りながら支援をしていく必要があるのだと思いました。親として、子供の進路決定への支援の仕方を考える講演会でした。



### (2) 「草西PTA 親と子で行くオープンキャンパス探検隊」

目的：①保護者目線でオープンキャンパスに参加し草加西高校の保護者のニーズに即した情報を発信、共有する

②保護者の連携と上級学校への理解を深める。

内容：★参加者を募り、探検隊になってもらう。

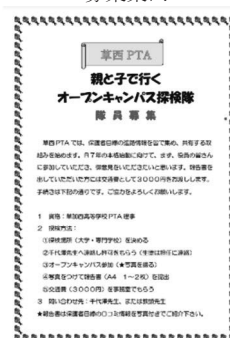
①子どもと一緒にオープンキャンパス参加

②取材レポート（保護者口コミ）を写真等も含め、A4用紙1～2枚にまとめる

③学校HP等で紹介

交通費：原則1日3000円をPTA活動費から支出

#### 募集案内



#### 取材レポート



コロナ禍以前は、大学や専門学校を見学するバス見学会が行われていましたが、子供の進路が大学、短期大学、専門学校への進学、就職と多様であることから、バス見学会を継続していくことは難しいと考えました。そこで、親子でオープンキャンパスに参加して、保護者目線で見た学校の雰囲気、感じた事などの取材レポートを作成し、PTAに提供してもらうという取組みを今年度から始めました。子供と一緒にいくことで共通の話題が生まれ、取材レポート作成を手伝ってもらったりと、親子で一緒に過ごす時間が増えました。今後も、この取組みを進めていきたいと考えています。



## 朝霞西高校の進路指導とPTA活動

埼玉県朝霞西高等学校PTA会長 黒岩和尊

### 1 学校要項

本校は、昭和54年に開校した男女共学の普通科高校であり、今年度で創立46周年を迎えます。昨年度より制服がリニューアルされ、制服のエムブレムやボタン等は生徒たちの意見を取り入れながらデザインされました。

#### (1) 目指す学校像と特徴

本校は「伸びる朝西、伸ばす朝西」を目指す学校像に掲げ、教職員一体となって、確かな学力を身につけるべく進路実現に向けた懇切丁寧な学習指導を展開しています。

また「社会で活躍できる人間の育成」に取り組み、規則正しい生活習慣とマナーを身につけるよう支援しています。学校行事の多くは生徒の自主的な活動によって運営され、部活動は運動部・文化部ともに活発に活動しています。豊かな心と体が育まれ、全校生徒と教職員が一緒になって活気のある学校生活を作り上げています。

さらに、国際理解教育にも力を入れ、オーストラリアのプロサパイン高校と姉妹提携を結んでおり、希望者を対象に毎年、夏季休業中に約14日間の短期留学を行っています。英語力だけでなく、ホームステイ先の家族や現地の高校生との交流を通じて、豊かな人間性を育み、友情を深めています。

#### (2) 教育の特徴

本校では明るい校風の下、主要5教科を中心に幅広い学びを通して得意教科の理解を深めたり、新たに興味関心のある分野を発見したりしながら、生徒一人一人に合った進路を見つけていくために取り組んでいます。

##### ◆進路希望をかなえる教育課程

基礎学力の充実を目指すとともに、生徒の多様な進路希望に対応するため、生徒一人一人の希望に応じた選択科目を設けています

##### ◆進路希望の実現

実力を伸ばすため、一時間一時間を大切にした授業を展開し、補講の充実を図り進路ガイダンスや、きめ細かい進路相談を実施しています。

##### ◆活気あふれる学校行事や部活動

主体的に一つのことを成し遂げ達成感を得られる文化祭や体育祭など、充実した学校行事を行っています。部活動でも数々の実績を上げています。



◆国際理解教育の推進

姉妹校（オーストラリア）への短期留学や交流を行っています。また本校はA.L.Tの拠点校で、語学力の向上や国際理解が深められます。

◆教育相談の充実

生徒一人一人を大切にし、専門のカウンセラーや教職員の連携によるカウンセリングなど、生徒の心の悩みに丁寧に対応しています。

## 2 本校のPTA活動

生徒の学校生活が充実したものになるように、学校と連携し支援しています。

### (1) 目的と事業

学校と家庭の緊密な連携によって教育の振興に寄与することを目的として、次の事業を行っています。

- ・学校と家庭の連絡をはかる事業
- ・教育振興に関する事業
- ・会員の研修に関する事業
- ・その他、本会の目的達成に必要な事業



マスコットキャラクター  
しいちゃん

### (2) 組織について

#### 【執行部】

会長を含め、数名の理事で構成されています。PTA活動全体を取りまとめ、高P連関係への参加を行っています。また、参加しやすいPTA活動を推進するため、令和4年度よりITツールを導入、運営管理を行っています。学校行事ではロードレース大会の給水サポート、卒業式後に行われる感謝の集いの企画開催も行っています。

#### 【文化教養委員会】

しいのき祭（文化祭）にて文化的企画を立案、保護者の教養等を深める場を提供しています。今年度はプチ体力測定を実施、大勢の方に参加していただき好評でした。

#### 【研修旅行委員会】

研修旅行の企画を行い、旅行を通じて見識を高めるとともに、保護者間のコミュニケーションを深めるための活動をしています。今年度は10月に神奈川県総合防災センターの見学と鎌倉散策を予定しています。

#### 【広報委員会】

年2回（7月・3月）広報誌『しいのき』を発行し、PTA活動や学校情報、勇躍する生徒の姿を発信しています。

#### 【進路委員会】

年2回（6月・11月）保護者向けの進路説明会を実施し、進路に関わる情報を提供しています。

### 3 本校の進路指導

3年間を見通したうえで、段階を踏み計画的・組織的に進路指導をおこなっています。

#### (1) 進路の取り組み

本校では、生徒一人一人の進路実現に向けた次のような取り組みを行っています。

- 1 学年…進路適性検査 (R-CAP)、探究活動 (グループ別)、外部講師を招いての講演会、職業人講話、進路希望調査、到達度テスト、進路体験報告会 (卒業生の話を聞く) 等
- 2 学年…進路適性検査、進路探究活動、分野別ガイダンス、入試制度ガイダンス、志望理由書ガイダンス、卒業生進路体験報告会、上級学校別入試ガイダンス等
- 3 学年…各種進路説明会 (奨学金、AO推薦、公務員)、進路探究活動、小論文指導、分野別ガイダンス、面接ガイダンス、受験勉強ガイダンス、模擬面接指導、各種模擬試験、一般入試説明会等



毎年、卒業式直後の日程で行われる『進路体験報告会』の様子  
卒業したばかりの先輩が、後輩の教室を訪れ、進路のアドバイスをしてくれます

#### (2) 進路状況

直近の卒業生の進路は、約7割が「4年生大学・短期大学」に進学、約2割が「専門学校」へ進学しています。就職率は3パーセント程度となっています。近年、難関私立大学への進学者も増加しています。

過去3年間の進路概況 (現役のみ)									
	2021(令和3)年度			2022(令和4)年度			2023(令和5)年度		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
大 学	113	64	177 57.3%	110	67	177 56.9%	125	79	204 65.8%
短期大学	0	21	21 6.8%	0	10	10 3.2%	1	8	9 2.9%
専門学校	26	61	87 28.2%	26	62	88 28.3%	22	42	64 20.6%
就 職	1	3	4 1.3%	3	7	10 3.2%	5	4	9 2.9%
うち公務員	1	1	2	2	1	3	4	0	4
その他	17	3	20 6.5%	23	3	26 8.4%	22	2	24 7.7%
合 計	157	152	309	162	149	311	175	135	310

#### 4 進路指導とPTA活動

学校と進路委員会が連携し、保護者対象の進路に関する企画を年2回実施しています。今年度は6月に『3年生保護者向け進路説明会』を開催、進路ソリューションカンパニーの、さんぼう様にご協力いただき、さんぼう専任講師による進路講和と各大学の担当者による学校別の説明会を開催しました。



『3年生保護者向け説明会』の様子



各教室に分かれて説明を聞きました

以前は大学の様子を直接感じていただくため、保護者対象の大学見学ツアーを実施していましたが、コロナ禍の影響により多くの大学でオンラインによるオープンキャンパスが可能になったこと、また保護者の参加希望者が減少したことから廃止しました。今後は、現状に合った保護者の求める進路情報を提供できるよう、活動内容を検討しています。

#### 5 おわりに

生徒たちがそれぞれの夢を追い、未来へと羽ばたいていくためには、多様な進路選択のサポートが欠かせません。しかし、進路の選択肢が広がる中で、保護者の皆様がその変化に対応し、必要な情報を収集するのは容易ではなく、不安を感じる場面も多いことと思います。私たちPTAは、保護者の皆様が安心して子どもたちの成長を見守り、力強く支えていけるよう、学校と連携しながら、進路に関する正確で有益な情報を提供していくことを使命としています。

これまでの活動に加え、今後も進路説明会やガイダンスなどの機会を充実させ、保護者が子どもたちと共に進路を考えるサポートを続けてまいります。また、進路指導に限らず保護者の皆様が気軽に参加できるPTA活動を展開し、学校と家庭が一体となって生徒たちを応援できる環境づくりを目指します。新しい時代に合わせたPTA活動の在り方を模索し、保護者の皆様のニーズに応じた情報提供やサポート体制を整えていくことが重要だと考えています。

さらに、PTA活動を通じて、保護者同士のつながりを深めることも大切にしていきたいと思えます。子どもたちのために、保護者が互いに助け合い、情報を共有し合うことでより良い学校生活の実現に寄与できると信じています。私たちの活動は、皆様のご理解とご協力なしには成り立ちません。これからも一緒に手を携え、子どもたちの成長を見守り支えていけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

提案県 埼玉県

所属校 埼玉県立川口北高等学校

役職 PTA会長

氏名 木村 卓史

発表テーマ 「川口北高校PTA活動と進路指導」



## 1 はじめに

本校PTA活動の活性化が、保護者の本校教育活動への理解を深め、後に述べる重点目標達成につながると考えられる。コロナ5類移行後、行事や事業の活動が再開される中、より保護者同士の交流を促進し、満足度の高い活動が求められる。同時に各行事の必要性も含め、活動の見直しを行い、長年のPTA活動で築いてきたものを継承しつつ、ICTを活用するなどして、合理化を目指している。

## 2 本校の概要

### (1) 沿革

昭和49年4月開校。令和5年度、創立50周年を迎える

普通科 1年 9学級、2年 9学級、 3年 9学級 計27学級

生徒数 男子571名 女子497名 計1068名（令和6年10月1日現在）

### (2) 目指す学校像

文武両道の精神のもと、高い志と品格を備えた未来を拓くグローバルリーダーを育成する学校

### (3) 重点目標

- ① 自ら勉学に真摯に取り組む姿勢により学力の向上を図る。
- ② 満足度の高い生徒全員の進路希望の実現を図る。
- ③ 文武両道の校風を堅持し、学業及び体力、精神力の充実を図る。
- ④ グローバル社会に対応し、国際社会に目を向けた教育を推進する。

### (4) 教育課程

- ・ 2学期制 55分授業（午前3時間、午後3時間）；平成23年度から実施
- ・ 週あたりの単位数（34単位）；平成30年度から原則隔週土曜授業実施
- ・ 3年次の類型に文理融合系新設；令和6年度入学生より

## 3 PTA活動の概要

### (1) 組織

A：執行部：会長、副会長により構成されている。

事業部の活動の調整、学校の各種行事への協力、会員の慶弔、財務、高等学校PTA連合会関連の業務、地域他校連携、その他を分掌する。

- ・ 主な活動内容：常任理事会・理事会（5月、6月、9月、1月、3月）他

B：事業部：①総務部 ②広報部 ③文化部 ④生活部 ⑤進路部

①総務部

会員の研修活動、親睦を深めるための活動の企画実施、その他を分掌する。

・主な活動内容：PTA歓送迎会（5月11日）

PTA親睦会（10月12日）川北周辺ウォーキング&茶話会

②広報部

PTA広報誌の発刊等本会の広報に関する活動、その他を分掌する。

・主な活動内容：PTAだより発行（発行月：5月、7月、12月、3月）

③文化部

会員の文化的活動の企画実施、学校の文化的行事への協力、その他を分掌する。

・主な活動内容：文化講座（6月）今年度はミツロウで作るエコラップ作りを実施

文化祭（8月、9月）今年度はエコバック、ペーパーフラワー作り

④生活部

会員の体育的活動の企画実施、学校の体育的行事への協力、その他を分掌する。

・主な活動内容：PTA球技大会（11月）今年はワンバウンドふらばーるバレーを実施

⑤進路部

生徒の進路に関する会員研修の企画実施、学校の進路指導への協力、その他を分掌する。

・主な活動内容：進路講演会（5月11日）

教育視察（大学訪問）（11月）法政大学と千葉大学を訪問予定

※昨年は立教大学と都立大学を訪問

(2) 活動課題等

参加しやすい活動を目指し、内容の見直しを行い、長年のPTA活動で築いてきたものを継承しつつ、ICTを活用するなどして、合理化していく。

## 4 PTA活動と進路指導

### (1) 目的

生徒の進路観を育成するために保護者ができることは何かということを広い視野で考えてもらい、保護者の進路に関する意識を高め、生徒の進路実現を図る。本校のPTA活動と進路指導については、「進路講演会」と「教育視察」の2つの事業が大きな役割を果たしている。

### (2) 具体的内容

#### ①「進路講演会」

高校生ともなると、生徒が進路について保護者に話す機会は少なくなる傾向にある。それにより生徒が自己判断で進路を決めることが増え、家庭内で進路についてじっくり話し合う場が減少することが懸念される。しかし、進路選択は生徒たちの将来に大きな影響を与える重要なものであり、そのため、保護者が最新の進路情報を把握し、生徒と



のコミュニケーションを深めサポートすることが求められる。この講演会では進路指導主事の先生が、受験の最新情報や本校の進学実績の傾向、卒業生の言葉を紹介しながら、保護者が家庭でできることを直接伝えることで、生徒に寄り添いながら進路選びをすることにつなげている。特に、大学入試が多様化し、国公立大学と私立大学の違いだけでなく、従来からある筆記試験が中心の一般入試、高校での成績や活動実績に基づいて選抜される学校推薦型選抜、その中でも指定校推薦と公募推薦、個性や意欲、将来の目標なども重視され、小論文や面接、課題提出を通じて評価される総合型選抜など、選択肢が広がる中で、経済的な側面も含め、正確な情報を得ることは大変重要である。

今年度は220名の保護者が参加し、進路指導主事の先生からは昨年度の傾向として、本人よりも保護者が先にあきらめてしまうという話があり、「最後まで生徒を信じ、支えてあげてほしい」という言葉をいただいた。

## ②「教育視察」

毎年行われる大学訪問は、保護者にとって資料やパンフレット、ネット上の情報では得られないリアルな大学生活やキャンパスの雰囲気を体験する貴重な機会である。これにより、進学先の具体的なイメージを持つことができ、受験する学校の選択肢が広がる。また、保護者自身が大学を訪れることで、大学の講義や大学生活の実態について、生徒と話しやすくなるという点もある。生徒たちにとっても、保護者が進路選択に関心を持ち、積極的にサポートしている姿勢を感じることで、進学に対するモチベーションが高まることが期待できる。

## (3) 参加者の感想

### ①「進路講演会」

- ・卒業生の様々な声を知ることができ、わかりやすく良かった。
- ・卒業生の言葉はとても心に響いた。子どもも川北で粘り強く頑張る人間に育ってくれたら嬉しい。
- ・先生方が一人一人の進路と一緒に考えてくれていることが分かった。
- ・子どもへの応援の仕方が参考になった
- ・現在の受験制度がとてもよく分かった。
- ・保護者の心持が大切だと分かった。
- ・入試制度やかかるお金のことが具体的で参考になった。子どもと早い時期から具体的に話し合っていこうと思った。
- ・志望校を早めに決められるよう普段から会話をしようと思った。
- ・川北の方針が分かった。
- ・志望校を決めるために保護者はどのように関わればよいか、子どもに何をアドバイスすればよいか分かった。
- ・卒業生の状況や社会に出た後の話を聞くことができ参考になった。





・データに基づいた話や卒業生の声を聞くことができ良かった。子どもにも聞かせてほしい。

- ・親が進路について向き合う良い機会となった。
- ・子どもと一緒にいろいろな大学を調べてみようと思った。
- ・子どもに先生をもっと頼ってほしいと思った。

## ②「教育視察」



立教大学 池袋キャンパス

・パンフレットだけではわからない学内の雰囲気、学生の様子がわかり、現場を見られて良かった。

・公立と私立の雰囲気の違い。キャンパスの雰囲気や学生さんのカラーなど、2校見られたことで違いを感じることができた。

・入試や学部のことを説明してくれたのでとても興味深かった。

・大学を選ぶ視点（何を研究したいのか）を知ることができた。

・同じ学年の保護者同士や先輩ママさんと話ができ、情報交換ができて良かった。

・自分ではなかなか行かない大学に行けて良かった。

・今回の機会に娘と進路についてもう少し深い話ができそう。

・先生ともお話しできて楽しかった。

・先生をはじめ役員の方々のおかげでとても充実した貴重な体験ができた。ありがとうございました。



東京都立大学 南大沢キャンパス

## (3) まとめ

川口北高校の進学実績は、こうした事業の保護者と生徒、そして学校の連携を強めることによって達成されている。保護者が進路に対して正しい情報を持ち、積極的に関与することで、より良い進路選択ができる環境が整うと考える。



本校マスコットキャラ  
「かわきたん」



# 「進路指導とPTA」

埼玉県立秩父農工科学高等学校  
PTA会長 今井 孝幸

## 1 はじめに

本校は、明治33年に秩父郡立乙種農業学校として創立され、同36年に甲種に変更、秩父郡立農業学校となり、以後埼玉県立秩父農林学校、秩父農業高等学校、秩父農工高等学校と発展をし、平成17年4月、埼玉県立秩父農工高等学校と埼玉県立秩父東高等学校を統合して、現在の埼玉県立秩父農工科学高等学校となりました。全日制に農業科、食品化学科、森林科学科、電気科、機戒科、電子機械科、ライフデザイン科、フードデザイン科を置き、定員320名(男女共学)、定時制普通科定員40名、情報機械システム専攻科定員40名でした。その後、課程定員数の変遷等で、平成25年電気科、機戒科、電子機械科を募集停止、電気システム科、機戒システム科(共学)定員各40名を設置しました。令和5年3月、情報システム専攻科を閉科しました。

今年創立124年を迎える伝統校であり、「至誠一貫・協同和親・規律節制・質実剛健・勤勉努力」を校訓に、「秩父地域の産業と未来を支えるスペシャリストを育成する学校」を目指すを学校像に揚げ、秩父地域の産業や文化を支え、日本の未来を担う”スペシャリスト”を育成するため、日々の教育活動に取り組んでいます。



## 2 本校の概要

現在は、全日制3学部・7学科、(農業部) 農業科・森林科学科・食品化学科、(工業部) 電気システム科・機械システム科、(家庭部) ライフデザイン科・フードデザイン科、1年生241名・2年生240名、3年生240名、合計721名、定時制、普通科16名が学んでいます。

## 3 本校の特色

創立当初より秩父を支える人材(卒業生2万5千人以上)を輩出しており、近年の進路状況は就職者と進学者が6:4という割合です。就職者のうち約6割近くの者は地元の企業に就職し、進学者は4年制大学・短期大学4割、専門学校6割という状況です。部活動も活発に行われており、運動部19部、文化部13部が活動中です。今年度は、陸上部の男子生徒が投擲で関東大会出場、山岳部も秋に箱根で行われる関東大会に出場、弓道部男子が全国高校生遠的弓道大会に出場を決める

など実績を残しています。また、男子ソフトボール部はインター杯予選で惜しくも負けてしまいましたが、国民スポーツ大会の県代表メンバーに8名が選出されました。また、文化部では、演劇部が昨年度の全国高等学校総合文化祭に出場し、優良賞を受賞しました。演劇部以外にも多くの部活動が地元内外から様々な依頼を受けて、いろいろな場面で活躍しています。

学科の特色を見ると、電気システム科では課題研究の授業の一環で「おもちゃ直し隊」を結成し、昨年度多くのメディアに取り上げてもらいました。森林科学科では、第34回「緑の環境プラン大賞」において、3年生がエントリーした作品「つながりの森」が「コミュニティ大賞」を受賞し、多くの企業がエントリーする中、高校生として初の受賞となりました。地元のこども園と連携した取り組みです。フードデザイン科では牛乳コンテストをはじめ、多くのコンクールに出場し、好成績を収めています。

#### 4 本校の課題

本校の課題は、生徒募集です。秩父地域の子どもたちが減少する中であって、総合専門高校ならではの進学先や、農工ブランドをPRし、中学生・保護者や地域の方々に伝えて信頼を得ることが必要だと考えます。そして、PTA・後援会・職員との連携を密にすることで、保護者・こどもたちが安心して安全な学校生活を過ごせる環境、一緒になって楽しめる学校行事・PTA活動を地域に発信することが大切だと思います。今後より一層、PTA・後援会が学校を支援する体制づくりに努めて参ります。

#### 5 PTA組織

現在のPTA・後援会組織

##### (1) 各本部役員

PTA顧問	後援会顧問 (2名)
PTA会長	後援会会長
PTA副会長 (6名)	後援会副会長 (7名)
PTA幹事 (19名)	後援会幹事 (14名)
PTA会計 (2名)	後援会会計 (2名)
PTA監事 (2名)	後援会監事 (2名)
PTA支部長 (12名)	後援会支部長 (12名)

##### (2) 各種委員会

PTA・後援会本部役員会・・・PTA・後援会組織の運営、支部別懇談会の調整  
文化祭への参加協力、次年度の企画・運営等

広報委員会・・・PTA広報誌「P後だより」年3回発行(7月・12月・3月)

研修委員会・・・研修旅行企画・運営

校外指導委員会・・・登校指導(学期に1回)実施

進路研修会・・・進路講演会、秩父の企業説明会への参加

保健委員会・・・性教育講演会への参加、学校保健委員会への参加

##### (3) 主なPTA行事

4月 入学式、登校指導(校外指導委員)

5月 PTA・後援会 総会(兼役員会)

6月 性教育講演会・学校保健委員会

7月 PTA・後援会支部別懇談会、P後だより発行①

9月 登校指導(校外指導委員)、体育祭

10月 PTA・後援会研修旅行

11月 秩農工祭

進路講演会

12月 P後だより発行②

1月 登校指導(校外指導委員)

3月 秩父の企業説明会(進路委員)、P後だより発行③

※各種委員会は年2～3回、本部役員会・支部長会は年3～4回実施

## 6 PTA活動

### (1) PTA・後援会本部役員会

本校のPTA、後援会本部役員会の仕事は、学校行事などに積極的に参加することにあります。支部別懇談会の調整、文化祭の参加、次年度の企画、運営等を主にしています。そして、PTA・後援会・教員が三位一体となり学校行事等に係わり、学校を盛り立てる役割だと思っています。それを実感できるのが「秩農工祭」です。各学科の日頃の学習成果を発表する機会として、PTA・後援会が子どもたちと一緒に楽しみながら参加できる行事です。また、「秩農工祭」と言えば、地域の方々が待ち望んでいる特別な文化祭であり、「地域と共にある学校」そのものです。



### (2) 広報委員会

PTA広報誌「秩父農工科学P後だより」は年間3回発行（7月・12月・3月）しています。広報委員会は年間3回の会議を行い、各紙面の構成、デザイン、写真の掲載、記事の依頼等、発行まで行っています。毎年、7月号には3年生の進路希望状況、3月号には3年生の進路状況を掲載し、進路活動をバックアップしています。

### (3) 研修委員会

本校では毎年、秋に日帰りの研修旅行を実施しています。会員相互の連携や情報交流の一環としてPTA・後援会・職員との連携を深めるために行われています。昨年度は、32名の参加がありました。「最先端の工業と秋の食にふれる旅」をテーマに、山梨方面へ行ってきました。4年ぶりの開催となりましたが、相互の親睦が深まる良いきっかけになりました。



### (4) 校外指導委員会

毎年各学期の初めに、生徒が登校する時間帯に、校外指導委員会を中心とした挨拶運動を実施しています。PTA・後援会・職員を含め、毎回35名程度が参加しています。登校する生徒と「あいさつ」を交わし、自分から相手に心を開き、声掛けをすることが大事だと実感しています。沢山の生徒が気持ちよく一日をスタートして欲しいという願いを込め、声掛けをします。また、進路指導の一環としてもコミュニケーション力向上の第一歩として、大切な取組の一つです。

### (5) 進路研修会

進路研修会では、秩父の企業説明会への参加や2学年保護者による進路説明会へ参加をお願いしています。2年生の11月に行う進路に関する説明会をきっかけにして、3月の秩父企業説明会を経て、子どもたちの進路実現への手助けをしています。多くの保護者がこれを機会に親子で進路について話し合うきっかけにしています。

### (6) 保健委員会

保健委員会では、外部から講師をお招きして「性教育に関すること」をテーマに講演を実施しています。毎年、自分を大切に相手も大切にする、命の大切さ、性感染症の予防など幅広い内容で講演いただいています。その後、学校保健委員会を開催し、講師の先生を交えての座談会を行います。毎年保護者からの質問が多数あり、有意義な時間を過ごすことができます。



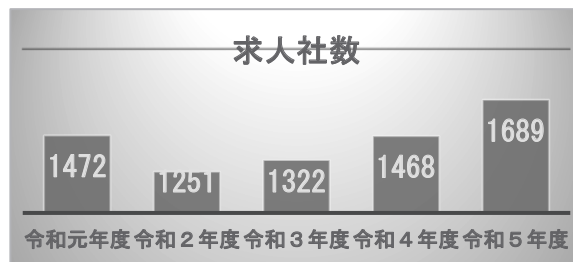


## 7 進路指導とPTA

### (1) 本校全日制の進路状況

昨年度の求人社数は1689社あり、コロナ禍で求人者数が落ち込んだ令和2年度から着実に増加傾向にあります。

1社目の内定率も90%以上と高い割合を誇っています。また、昨年度まで15年連続就職内定率100%を達成しています。



### (2) これまでのPTAと進路の関わり

コロナ前までは、PTA進路委員会を中心に外部講師を招いての進路研修会を実施していました。右側の写真にあるように、「秩父地域の雇用状況と新規雇用者に求められるもの」をテーマに、講演していただきました。

参加した多くの保護者は有意義だったと言ってくさいましたが、年々参加者が減少する状況が続いていました。



### (3) 現在のPTAと進路の関わり

現在は、2年生の11月に保護者対象の進路講演会を実施しており、毎年100名を超す保護者が参加します。また、3月には秩父の企業説明会を実施し、親子で聞くことにより共通な話題が生まれ、これをきっかけに家でも進路について話す機会が増えているようです。毎年、40社近い企業の人事担当者が来校されて、各企業のアピールをしています。地元にながら知らない企業もあり、進路選択の幅を拓ける機会になっているようです。



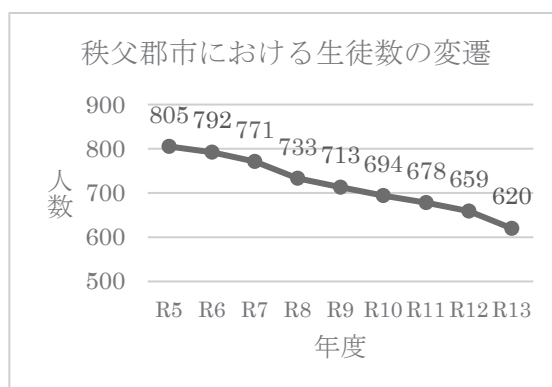
### (4) あいさつはコミュニケーションの第一歩

進路活動で大切なことの一つにコミュニケーション能力が挙げられます。そのまず第一歩となるのがあいさつだと思います。PTAとして、毎学期あいさつ運動を実施しています。学校の先生方も毎月のように行っていますが、日頃見慣れた先生よりも見慣れない保護者があいさつすることで、自ら進んであいさつをする習慣づけになると考えています。



## 8 おわりに

このグラフは、秩父郡市内における中学3年生の生徒数の変化を示すグラフです。3年後には約80名、さらに4年後には90名以上が減る予定です。人口戦略会議によると、秩父1市4町は消滅可能自治体とされています。秩父に定住して産業を支えていく人材を今後は地域全体の保護者という目線で、多くの子どもたちを学校と地域で一緒に育てていくことが大切であると実感しています。



## 埼玉県高等学校PTA連合会 事務局より

### 1 ハイスクール24還元事業について

令和5年度から、生徒の安全確保を推進するため、埼玉県高等学校PTA連合会が団体加入する「ハイスクール24」による収益の一部を加盟校に還元する「AED設置推進校事業」を始めました。本年度も多数のご応募いただき、誠にありがとうございました。

ハイスクール24の加入状況等により推進校10校選考し、決定した学校に11月15日までに連絡します。

### 2 「合格者書類」と「PTA関係書類」の差別化について

(1) 「安全振興会」「全国高P連 賠償補償(学校一括加入)」「全国高P連 ハイスクール24(会員任意加入)」の3つの補償制度は、いずれもPTA加入者が補償対象となっている制度です。そのため、合格者書類に同封すると、「入学者全員が対象となる補償」との誤解が生じる恐れがあります。

(2) 対策として、「合格者書類」と「PTA関係書類」の差別化についてご検討ください。「合格書類封筒」とは別に「PTA関係書類封筒」を作成し、PTA関係としてお伝えするべき以下の4点を同封します。

- 「PTA会長あいさつ(例)」(第2回理事会報告で配付済)(鑑文)
- 「安全振興会の案内」
- 「全国高P連 賠償補償の案内」
- 「全国高P連 ハイスクール24の案内」

### 3 PTAに加入しない保護者さまへの対応について

「安全振興会の補償制度」「全国高P連の賠償補償制度」「全国高P連のハイスクール24」はPTA会員を対象とする制度のため、PTA未加入の方は、これらの制度には加入ができないこと、補償対象外であることを明確に伝えてください。